

学部等教員組織編制方針

松 戸 歯 学 部

①専任教員数の遵守，教員の構成について

本学部の教員配置計画は，教員設置基準による専任教員数 131 名（内，教授 23 名以上）を基に，教育等の効果や財政状況を勘案した上で本学部の適切な教員定員数を設定し，その定員を遵守した上で，教育・研究・臨床の効率化を目的に講座ごとの定員を設定している。

なお，教員の採用等については，年度ごとの退職者数に合わせた助教採用による教員定員数の確保を実施しており，教育研究上の目的及び 3 つのポリシー等を理解している優秀な若手人材を本学部所属の専修医・専修研究員から積極的に採用している。

また，教授及び准教授については，公募による採用を実施する一方，本学出身教員の採用促進の観点から後進者育成にも力を入れている。

女性教員の採用促進についてであるが，本学部では若年層になるにつれ男女の比率が均衡に近づいていることから，今後も引き続きバランスの取れた採用をする予定である。

②教育効果に配慮したクラス編成，専任教員の授業負担への配慮について

教育効果に配慮し，各学年とも 1 クラス編成とする。歯学教育モデル・コア・カリキュラムや，本学部のカリキュラム・ポリシーに基づき，講義と実習・演習を適切に組み合わせ，順次性を持った効果的な歯学教育を実施する。

特定の教員に負担が偏らないよう各講座に配置された教授の責任と権限の下，担当授業科目，時間数を毎年度見直す。また，優秀な非常勤講師を採用することで，専任教員の負担軽減を図る。

③教員の適切な役割分担及び責任の所在の明確化について

各教員は資格，経験及び実績に基づき学部運営において適切な役割を分担する。

講座の教授等が学科目責任者を務める。各学年の教育主任が，学科目責任者を統括し，カリキュラム運営を総合的にチェックする。

④教員の資質向上について

若手教員に対して、科学研究費補助金等の外部資金の積極的な獲得を推奨することで、若手教員自身の研究業績の積上げと合わせて、それらの研究内容を基にした知見を学生に還元し、教育の充実が実現できるよう計画している。また、その還元の中で、新たな気づきを得ることで若手教員の資質向上に繋げるよう指導をしている。

更に本学独自の鈴木研究費による研究関連の補助も実施している。

⑤その他、学部等として重視するポイントについて

学部が一体となり歯科医師国家試験に対する高水準かつ安定的な合格率の維持、向上を目指す。

さらに、地域社会における保健、医療、福祉及び介護等に貢献するために必要な多職種との連携、協働及び支援等により社会に貢献できる優秀な歯科医師の育成に努める。